



かすみてい なん 霞堤って何なの

ていぼう ふれんぞく 堤防が不連続になっているもの

かわ りょうがん には、ていぼう があり、そのていぼう は、じょうりゅう からかりゅう までずっとつづ いています。このように、川の流にそって、連続して造られている堤防を、「連続堤」といいます。

ていぼう なか には、連続していないものがあり、これを「不連続堤」といいます。

ふれんぞくてい だいひょうてき なものが「霞堤」です。霞堤 は、堤防の下流側のはじを切り、堤防に開口部を設けます。また、下流側の堤防の、うへをはじを堤内地側(田畑がある側)にのばして、2本の堤防がある程度の長さにならって、重なるようにしたものです。

かすみてい こうずい となると、堤防の切れ目(開口部)から洪水の水が一部逆流 します。そうすると、こうずい いきお よわ 勢いが弱められます。さらに、こうずい みず いちじてき かすみていぶん こむので、洪水を調整 する効果があります。

かすみてい こうか 霞堤の効果

かすみてい ていないち こうずい はっせい で、みず かすみてい かいこうぶ とお しぜん かわ には流れこみます。さらに、じょうりゅう ていぼう き かわ がはらんしたときには、はらんした洪水は、ほかへ広がらず、かすみてい かいこうぶ から、また、かわ にもどるようになります。

(監修・保岡 孝之)

